

# 第1回 奈良県脱炭素・水素社会推進本部会議(概要)

## 1. 脱炭素・水素社会推進本部 設置目的

- ・脱炭素・水素社会の実現に向け、本県独自の「(仮称)奈良県脱炭素戦略」を策定する。その検討過程で、水素利活用等に係るリーディングプロジェクトの検討企画・事業実施に取り組む。
- ・2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、特に「水素利活用」が重要な施策となる。令和5年6月に改定された国の「水素基本戦略」では、サプライチェーンへの官民による投資金額が15年で15兆円を超える計画となっている。
- ・この期を逃すことなく、本県の経済活性化のため、また、今後激化するであろう日本国内での水素利活用競争を勝ち抜くためにも、他自治体に先行できるチャレンジングなテーマを見つけ、リーディングプロジェクトとして積極果敢に取り組む。
- ・なお、推進にあたっては、責任体制を明確にして庁内横断的に取り組むとともに、国庫等の有利な財源の確保、官民連携、行財政改革の視点も重視する。

## 2. 脱炭素・水素社会推進本部 役割・構成等

### ①役割・機能

- ・庁内横断的な施策立案及び進捗管理
- ・団体・企業等へのヒアリング

### ②構成メンバー

- ・本部長 : 知事
- ・副本部長 : 両副知事
- ・副本部長代理 : 政策参与(脱炭素・水素社会実現担当)
- ・事務局長 : 環境森林部長
- ・構成員 : 全部局長
- ・事務局 : 脱炭素・水素社会推進課

### ③進め方

- ・推進本部において、取り組むべきテーマやリーディングプロジェクトを決定し、学識経験者等と意見交換をしながら、「知恵」と「アイデア」を集約。
- ・市町村との情報共有・意見交換等を通じ、各テーマ等について、積極的に市町村と合意形成を図る。
- ・これらを通じて検討した施策を推進本部で議論し、(仮称)奈良県脱炭素戦略を策定。予算事業化に繋げる。

## 3. 「(仮称)脱炭素・水素社会推進協議会」の設置

- ・全県的な事業推進ボードとして、県、国、産業等関係団体や学識経験者等(産学官)で構成する「(仮称)脱炭素・水素社会推進協議会」を設置。(令和7年1月頃を予定)
- ・様々な分野からのご意見・知見等を脱炭素戦略に反映させるとともに、県民・企業の実践活動の普及・促進役としての役割を担っていただく。

## 4. スケジュール

- ・令和6年6月4日、推進本部を設置し、リーディングプロジェクト等の検討を開始。
- ・今後、推進本部において進捗を取りまとめ、県議会に報告しながら、秋頃を目途に「(仮称)奈良県脱炭素戦略(案)」を作成。
- ・その後、パブリックコメントを実施するとともに、「(仮称)脱炭素・水素社会推進協議会」に広く意見等を求め、当戦略に反映。
- ・令和6年度末を目途に「(仮称)奈良県脱炭素戦略」を策定・公表。